

令和3年度 築上郡中学校軟式野球大会要項

1. 大会名 築上郡中学校軟式野球大会
2. 主催 築上郡中学校体育連盟
築上郡各町(学校組合)教育委員会
3. 共催 京築地区中学校体育連盟
4. 期日 令和3年7月3日(土) 役員受付 8:30
予備日 4日(日) 開始式 8:50
試合開始 9:30
- ※ 悪天候の場合、専門部で6時に判断して出場校の顧問に連絡
5. 会場 築上町立築城中学校グラウンド
6. 参加制限 築上郡内の中学校より各1チームとする
7. 競技方法 トーナメント方式で行う

8. 競技規則

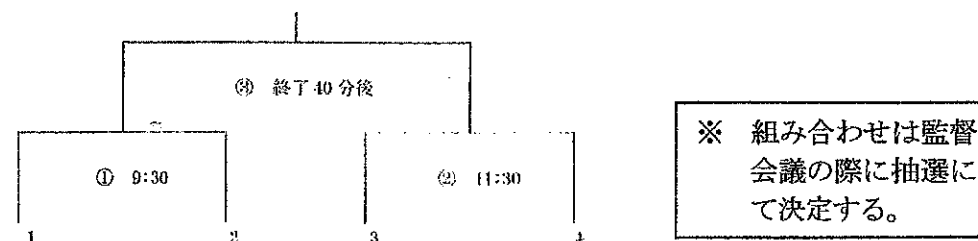
- (1) 規則 2021年度全日本軟式野球連盟規約並びに福岡県中学校体育連盟の申し合わせ事項、本大会の申し合わせ事項に準じて行う。
- (2) 試合球 公認球M号(マルエス)
- (3) 監督 引率・監督は当該学校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチは当該学校の教育職員とする。但し、教育職員以外のコーチは校長が認め、県中体連に登録し、承認を受けたものとする
- (4) 審判 全日本軟式野球連盟
- (5) チーム編成 選手18名、監督、コーチ2名の計21名
- (6) 申し合わせ事項
- ① 1回戦のみ5回以降7点差でコールドゲームとする。
 - ② 7回終了時に同点の場合は、延長戦は行わず、8回から9回までを判定戦とする。判定戦は7回の最終打者を1塁、その前の打者を2塁に置く。すなわち、無死1・2塁の状態にして、継続打順で攻撃を行う。後攻側も同じ条件で攻撃を行い、その回の得点の多い方を勝者とする。なお、同点の場合は、継続打順で同じ方法で次回を行う。9回終了までに勝敗が決しない場合は、最終出場選手9名全員による抽選によって決定する。
 - ③ 試合途中で中断し、打ち切りを余儀なくされた場合はサスペンデッドとし、翌試合日に継続試合とする。
 - ④ デッドボールを採用する。ただし、故意の場合は除く。
 - ⑤ 申告敬遠を採用する。
 - ⑥ 抗議権を有するものは、チームの主将及び当該選手とする。
 - ⑦ ランナーズコーチは選手に限る。
 - ⑧ 試合前のシートノックは7分間とする。ノッカーはユニフォームを着用すること。
 - ⑨ 全選手に原則として守備順に背番号をつけ、補欠選手は10~18、また、監督は

30、コーチは29、28の背番号をつける。

- ⑩ ベンチは組み合わせの若い番号(対戦表の左側)のチームを1塁側とする。
- ⑪ 捕手は、レガース・ヘルメット・プロテクター・ファウルカップを着用すること。シートノック時、投球練習時も、控え捕手を含み着用を義務づける。
- ⑫ 打者、走者及びランナーズコーチはヘルメットを着用すること。
- ⑬ バットは、公認(JSBB)されたものを使用すること。
- ⑭ 補助員は、試合のないチームとする。

9. 表彰 第2位までを表彰する。賞状(大4枚、小36枚)

12. 組み合わせについて



13. 地区大会出場について

- ・優勝校は地区大会に参加する義務を負う。
- ・京築地区大会 期日 令和3年7月17日(土)・18日(日)
会場 新田臨海総合グラウンド・中山グラウンド

14. マナーチェック 8:40より行う。選手全員がそろって受ける。

15. その他

- ・選手宣誓は令和元年度優勝校(古富中学校)の主将が行う。
- ・メンバー表の交換は試合開始10分前に行う。ただし、第1試合は開会式前に行う。
- ・天候・その他の諸事情により、試合開始時刻等を変更することがある。
- ・AEDは会場校校舎入口に設置する。
- ・Jアラート警報時は試合を一時中断し、屋内にて安全を確保する。警報が解除され次第、試合を再開する。
- ・福岡県中学校体育連盟では、個人情報保護に努めており、携帯電話等で撮影した画像・映像をYouTubeやSNSに無断でアップされることのないよう注意を促す。

令和3年度築上郡中学校（軟式野球）大会感染防止ガイドライン

- 受付
 - 窓口には、手指消毒剤を設置すること
 - 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること
- 各校責任者は、参加者から以下の事項を記載した健康観察カードの提出を求め、大会終了後2週間間保管すること
 - 氏名、年齢※個人情報の取扱いに十分注意する
 - 利用当日の体温
 - 利用前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）
 - 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - 嗅覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 大会当日、以下の事項に該当する場合は参加を見合わせたり、速やかに帰宅させたりすること
 - 体調がよくない場合（発熱・せき・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- マスク等の準備
 - 参加者がマスクを準備しているか確認すること
 - 運動・スポーツを行っていない間については、マスクの着用を求めること（運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとする）
- 大会参加前後の留意事項
 - 大会の前後のミーティング等においても、三つの密を避けること
 - 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること
- 手洗い場所
 - 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
 - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。手指を乾燥させる設備等については使用しないようにすること）
 - 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
- 更衣室、休憩・待機スペース
 - 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること（障がい者の介助を行う場合を除く）
 - 一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
 - 複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること
 - 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
- 飲食
 - 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること
- 洗面所
 - トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
 - トイレの蓋を開けて汚物を流すよう表示すること
 - 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
 - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。手指を乾燥させる設備等については使用しないようにすること）
- 飲食物の提供時
 - 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること
 - 飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供すること
 - 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること
- 保護者の管理（適時アナウンスや掲示物でお知らせをすること）
 - 保護者の参加人数については、制限を設けない。
 - 大会関係者や保護者同士が密な状態とならないようにすること
 - 大声で会話をしたり、声振を透ったりしないこと
 - 会話をする場合にはマスクを着用することなどの留意事項を周知すること
- 大会会場
 - 大会を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
 - 換気設備を適切に運転すること
 - 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと
- ゴミの廃棄
 - 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
 - マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること